＜京都企業訪問＞

香老舗・松栄堂

龍谷大学経営学部教授
山西　万三

梅雨空の晴れた 2012 年 6 月 25 日の午後、本学経営学部、大西謙教授と私の２名で、宝永２年の創業から数えて 307 年になる香老舗・松栄堂、本店に代表取締役社長　畑　正高氏を訪ねさせて頂きました。

地下鉄烏丸御池駅北出口から北へ約 300 メートルのところに松栄堂本店はあります。お店先・入口にさりげなくお香が薫(た)かれ、よい匂いが漂っています。店頭で、私どものことを告げると、女性社員のご案内で社長室にお通しを頂きました。

夏、６月ごろより咲き始める「朝顔」は、早朝の青い花の涼やかなことから俳句では秋の季語とされているそうです。その朝顔のような上品なコップで冷茶のおもてなしがいまも印象に残ります。

畑社長は、お会いしてみると本当に気さくな方でした。ご挨拶もそこそこに、龍谷大学からお願いしていますご講義の要領について手短にご説明をさせて頂きますと、たいへん快くご承知くださり、そのあと、貴重なお話をお伺いすることができました。そのお話のなかから少しばかり、私の感想も交えてご紹介させて頂きます。

日本全体のお香の市場は、300 億円ほどで、そのうちほぼ半分を東京の企業一社で占めているそうです。京都だけでもお香の老舗が各宗派門前などにいくつかありますが、他社が残りのシェアを分け合う形になっているとのことです。

私たち素人は、お香というと、商品がいつまでも変わらないもののように思っています。しかし、松栄堂さんでは、研究室で新商品の開発に意欲的に取り組んでおられ、新商品比率はかなり高いようです。伝統は革新によって守られている、そんな思いを新たにしました。そして、商品開発、厳重な品質管理、心のこもった商品のお届けがなければ売り上げは維持できないということをさりげなく示唆いただきました。畑社長は、松栄堂に 300 年以上の

歴史があっても３年先の経営がどうなっているかはわからない。だからこそ、日々の努力が大切だということを言われます。直接的な商品の開発・製造・販売だけでなく、「香・大賞」という香りをテーマにしたエッセイの公募コンテストなどを通しての香・文化、日本文化の育成をはかられ、香りのある生活の創造にもつくされています。

社長は、いろいろなたとえを示されて、京都企業・松栄堂の経営は、1000年以上の歴史が育んできた京都の歴史の重み、その歴史を培ってきた土壌をこれからも清浄で豊かな土壌として後世に伝えていくことに焦点をあてなければならないと言われます。

本店２階にある工房のご案内をしていただきました。ここでは貴重な原料を用いた、高級品を伝統的な方法により丁寧に作られている様子が見せていただけます（予約すれば、どなたでも見学可とのことです）。

松栄堂本店１階、お店の奥のスペースは、無償で作品展示会などに提供されています。宇治・平等院の対岸に高級茶器等を焼かれている朝日焼という有名な窯元があります。ちょうど、私たちが伺ったときは、その朝日焼の窯元のお二人の息子さんの作品の展示・即売会が開催されていました。

社屋の使い方一つですが、お香を求めに来られた方は気軽に工芸作品をみて楽しむことができ、作品展を見に来られた人はお香の世界を楽しむことができます。お客様は、心に響く作品があれば求めることができ、上質なお香を楽しみわけてもらうこともできます。

こうしたちょっとした心遣いある工夫が、さりげなく、企業の社会的責任を果たし、メセナ活動にもなり、市場開拓にもつながることになります。先義後利、世間の役に立てばおのずと利益もついてくる、というご商売の心を見た思いがしました。

松栄堂から頂いた「香りのさんぽ」という小冊子を帰ってから見させて頂くと、コンパクトにお香に関する知識、作法の解説、お線香の製造工程が説明されていてたいへん重宝なものでした。

この冊子の最後に社長のお書きになったご著書の案内が出ていましたので、ご紹介して、松栄堂訪問の稿を閉じさせて頂きます。

畑社長のご著書

畑　正高著『香三才　―香と日本人ものがたり―』東京書籍刊。

畑　正高著『香清話』淡交社刊。

畑　正高監修『香千載』光村推古書院刊。

畑　正高他共著『茶席の香　すがたと扱い』淡交社刊。

会社概要

社名	株式会社　松栄堂
代表者	代表取締役社長　畑　正高
登記住所	京都市中京区車屋町通夷川下る真如堂町 306 番地
本社	京都市中京区烏丸通り二条上る東側
資本金	6000 万円
創業	宝永 2 年（1705 年）
会社設立	昭和 17 年 5 月 1 日
従業員数	181 名
事業内容	薫香、線香、仏事用薫香、茶席用薫香、匂い袋、輸出向き薫香、香水香等の製造販売　その他
関連会社	SHOYEIDO CORPORATION（米国松栄堂）
ホームページ	http://www.shoyeido.co.jp/